

ハウスクター体験記(5)

ホントにこわい漏水の話

家中に湿気がこもり、結露やカビがひどく、家族の健康が不安だという悲痛な訴えの電話をいただきました。新築してすぐに異常が見つかり、その後毎年のように手直しをしてもらったが、四年たった今も直らないという悩みです。

入居後すぐに、押入のふとんがカビだらけになり、タタミの表面にもうっすらとカビが生えてきたそうです。業者は床下の換気不良が原因だということで、床下換気口を増設しました。その後、駆除業者にシロアリがいると言われ、床下に防除処理を施しています。同時に強制的な換気も必要だと説明され、床下換気口に小型換気扇を取り付けていました。

それでも、結露やカビはひどくなる一方で、夏は暑く冬は寒くなり、家族は頭痛に悩まされ、風邪をひきやすくなり、子どもは喘息に苦しむ、地獄のような住宅になってしまったといえます。

家全体から湿気を感じ、カビの臭いが鼻をつきます。また、壁の至るところに、クロス張りの下地を留めている釘のサビが表れています。これらは家全体に異常が起きている証拠です。この現象は、床下周辺から大量の湿気が発生し、その湿気が壁の中を回り、家中の壁の中や天井裏にただよっていることが推測できます。

タタミ下の板をはがしてみると、床下は大量のシロアリ駆除剤です。かつては、シロアリに絶対的に効果があり、残効性

が非常に高い、いわゆる農薬（クロルピリホス・クロルデン）と呼べる駆除剤を散布していました。しかし、居住者の健康まで犯されてしまう危険性があるため、平成15年3月31日に登録認定駆除剤から取り消されています。ここのシロアリ駆除剤は禁止された農薬の特徴を示しており、壁の中や天井裏から室内に漏れていることを考えると、すぐに対策を講じなければなりません。

苦労の末、突き止めたところは脱衣室の床下でした。浴槽の排水管の継手部分がゆるみ、漏れた痕跡があります。逃げ場のない水が周辺の土を泥状にしています。長い間の排水管からの漏水が、この問題の原因であり、その原因を特定しないまま、次から次と意味のない手直しを重ねた結果、地獄のような住宅を生み出していたのです。

何かの不具合が起きても、原因を突き止めないで、部分的な補修をくり返している場合が多いようです。雨漏りしたから大工さんに直してもらうのではなく、何が原因で雨漏りしたのかを突き止めたうえで、原因と患部を同時に直すことがもっとも経済的な治療法なのです。

